

令和3年度消費生活eモニター 第7回アンケート集計

1 調査趣旨

SDGsとは、貧困、紛争、テロ、気候変動など、様々な社会的課題の解決に向けて、「誰一人取り残さない」をキーワードに2030年までに達成すべき17のゴールが定められた持続可能な開発目標のことで、2015年9月の国連サミットで採択されたものです。国や地方公共団体、企業、消費者等が連携・協働し、取り組みを進めていくことが必要とされています。

昨年度、消費生活eモニターを経験された令和3年度消費生活eモニターを対象に、**その後のSDGsに関する取り組みの実態と意識**について調査し、今後の行政の参考資料とさせていただきます。

2 調査事項

「SDGs（持続可能な開発目標）について」

3 調査対象 令和3年度消費生活eモニター 27名 (回答者数22名・回収率81%)

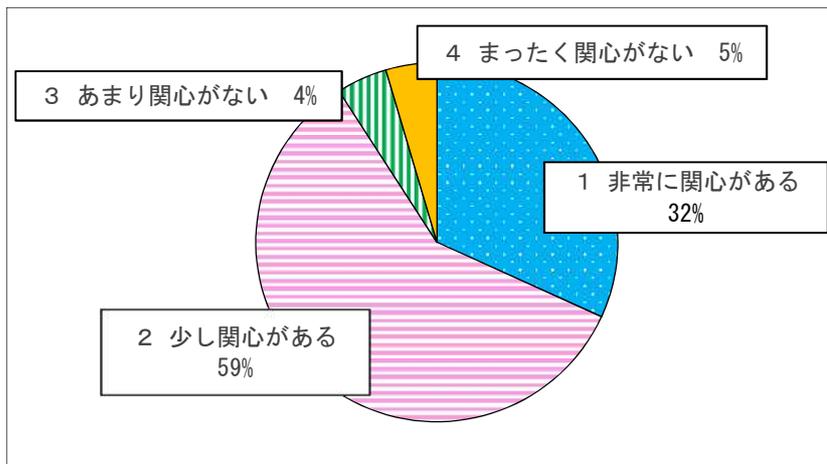
4 調査方法 市ホームページの回答フォームによる

- 集計結果について、四捨五入の結果や複数回答の集計によるため、合計が100%とならない場合があります。
- 調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」から「未提出者」を除いた数としました。
- 自由回答、その他意見は一部抜粋。

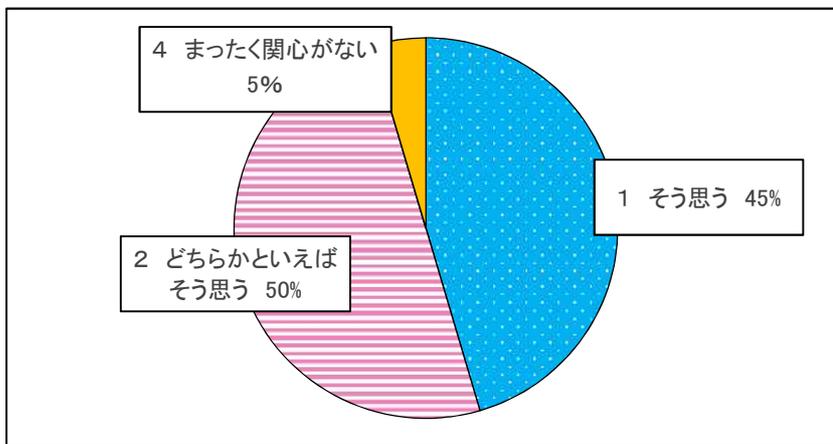


～SDGs（持続可能な開発目標）について

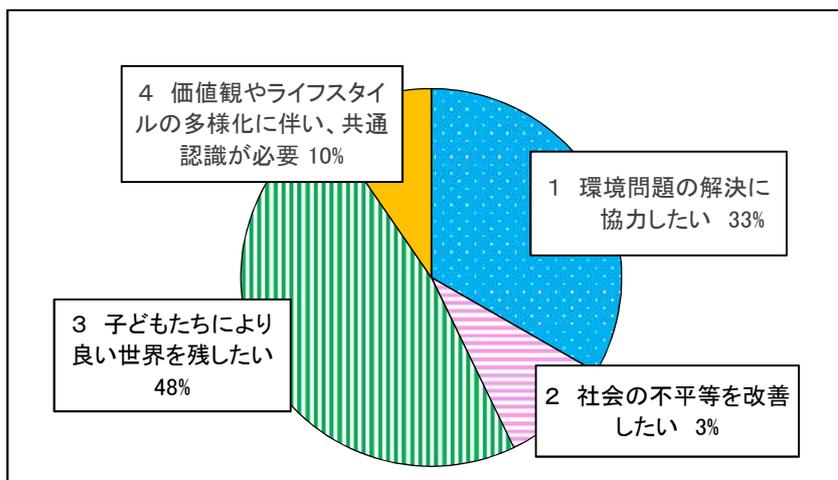
設問1 1年前と比べてSDGsにどの程度関心がありますか？



設問2 SDGsにつながる行動をしたいと思えますか？



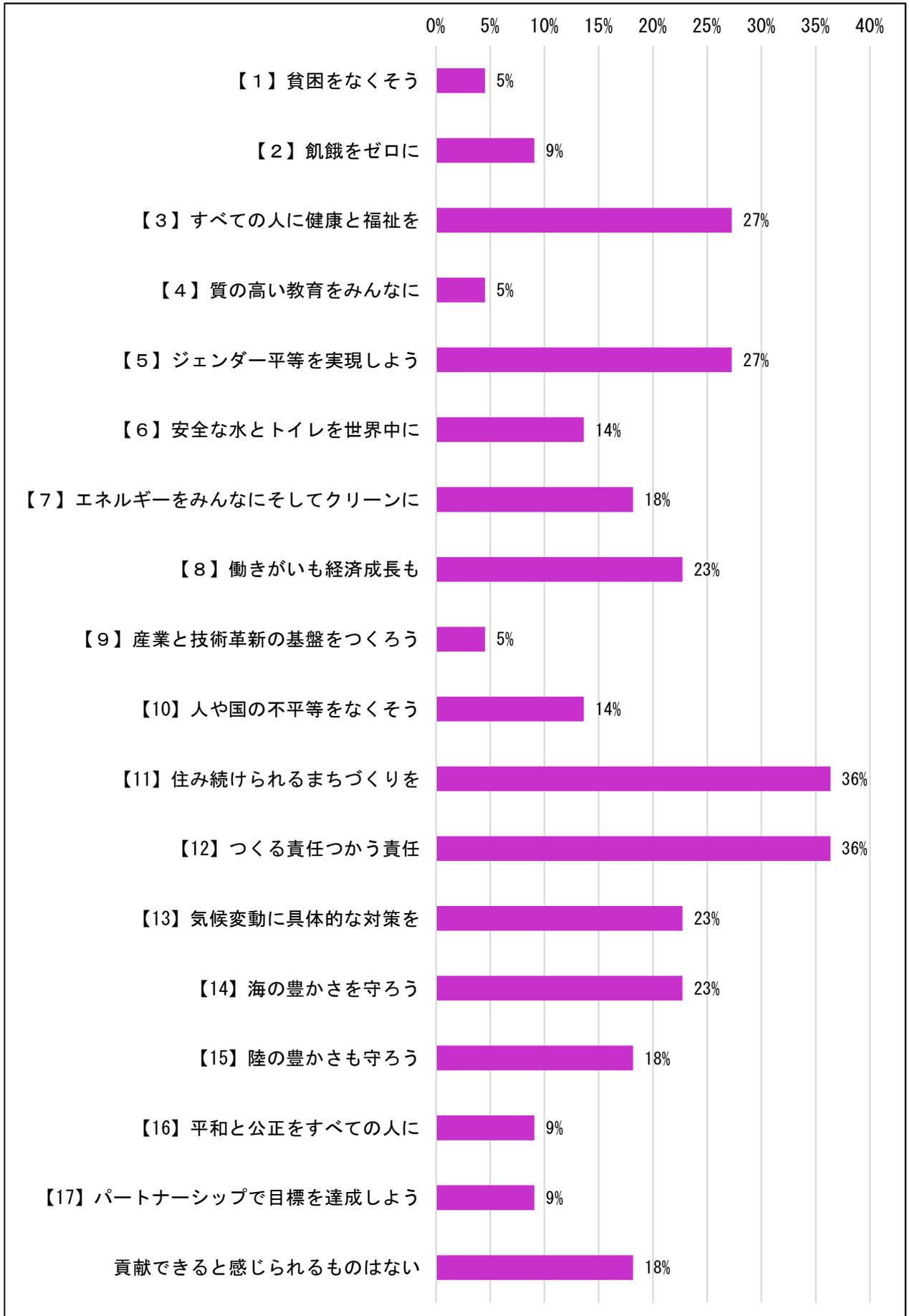
設問3 設問2で「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか？もっとも近いものをお選びください。



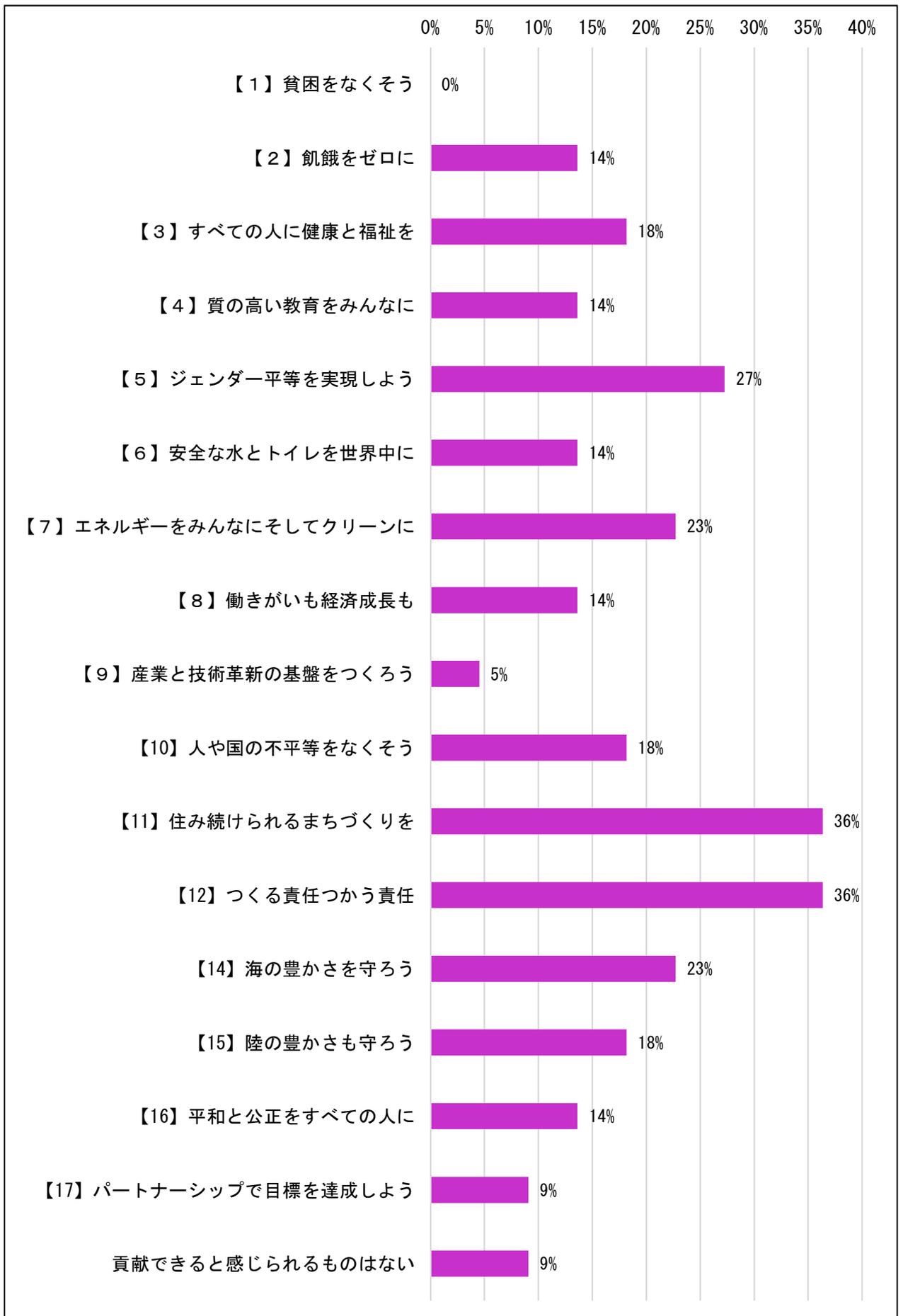
設問4 設問2で「どちらかといえばそう思わない」又は「思わない」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか？もっとも近いものをお選びください。

5 何をしたらよいかわからない 1%

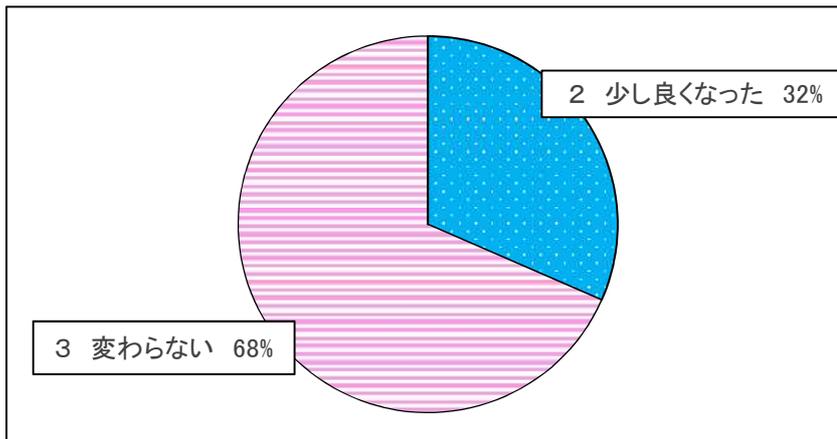
設問5 SDGsの17の目標のうち、御自身で貢献できていると感じられるものはどれですか？（複数回答可）



設問6 SDGsの17の目標のうち、これから貢献できると感じられるものはどれですか？（複数回答可）



設問7 設問5で、「貢献できている」と感じる目標を選んだ方にお伺いします。SDGsの17の目標に貢献することで、御自身や御家族の生活にどのように変わりましたか？



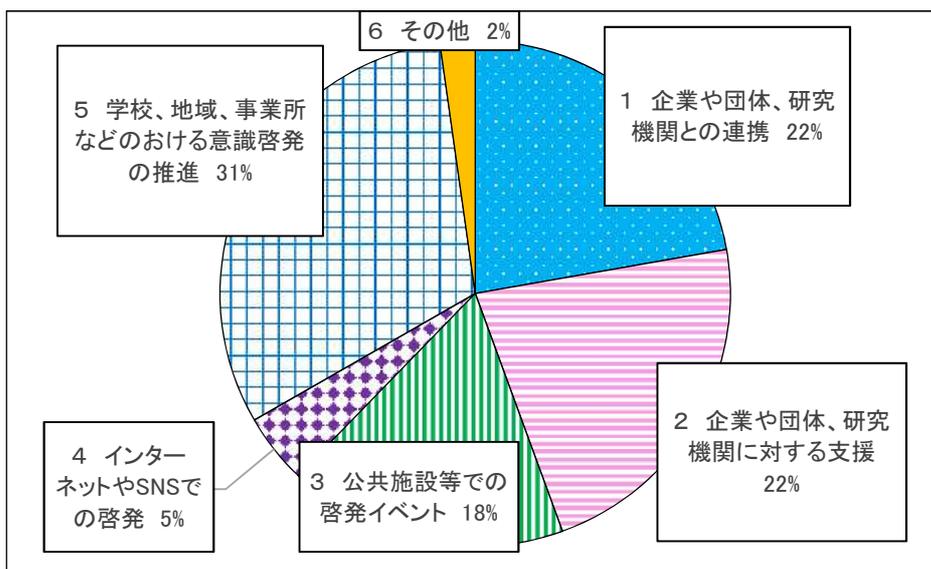
設問8 設問7で「良くなった」又は「少し良くなった」と回答した方にお聞きます。その理由をご記入ください。（150字以内）

- 人々が関心を持つようになったと思う。
- 関心を持ち、家族各々が考えて行動するようになってきている。
- 少しだけ、平和で穏やかな生活を感じる。

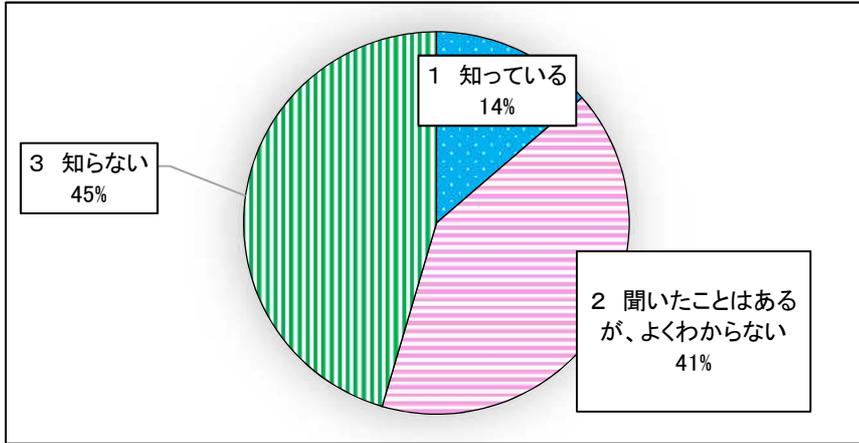
設問9 設問7で「悪くなった」又は「少し悪くなった」と回答した方にお聞きます。その理由をご記入ください。（150字以内）

- 「悪くなった」又は「少し悪くなった」の回答はなかった。

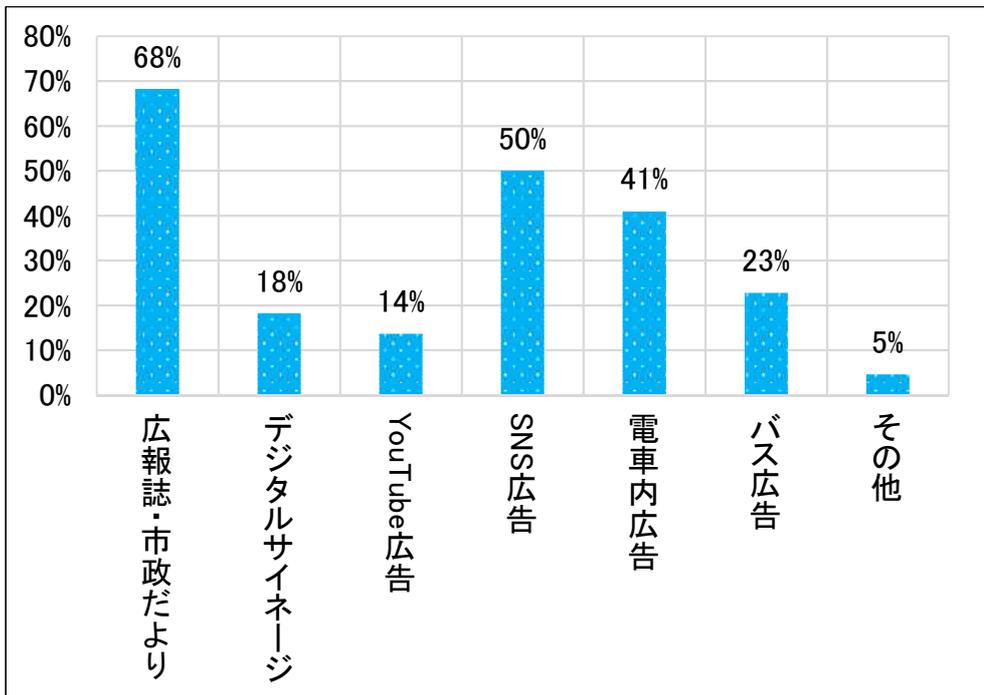
設問10 SDGsの達成に向けて、市内の取組を推進していくために、川崎市ではどのような取組が必要で効果的だと思いますか？（複数回答可）



設問11 「消費者市民社会」とは、消費者一人ひとりが自分達のことだけでなく、地域や将来生まれてくる世代、社会や経済、地球環境のことを考えて消費生活を行い、より良い社会を作るために積極的に参画する社会です。「消費者市民社会」を目指すことは、SDGsの目標達成に繋がると考えます。消費者行政センターでは、消費者市民社会の考え方や具体的な事例について、わかりやすく市ホームページ等で紹介していますが、ご存知でしたか？



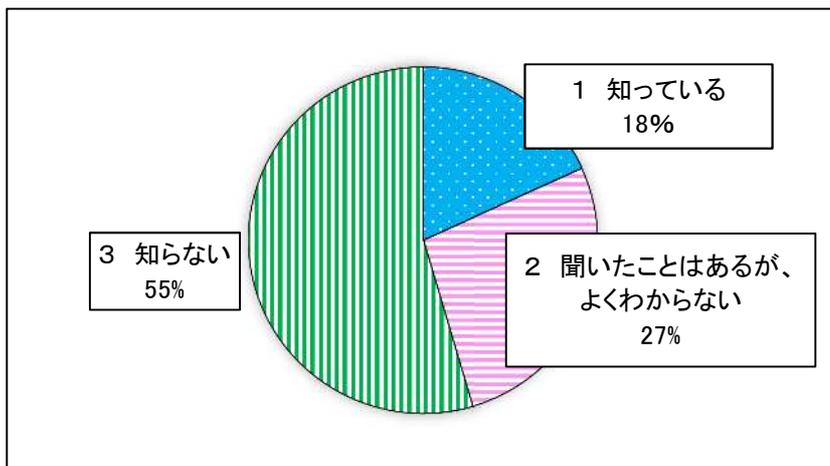
設問12 より多くの方が「消費者市民社会」について関心を持ち、理解を深め、行動するためには、どのような媒体で啓発することが効果的だと思いますか？（3つまで回答可）



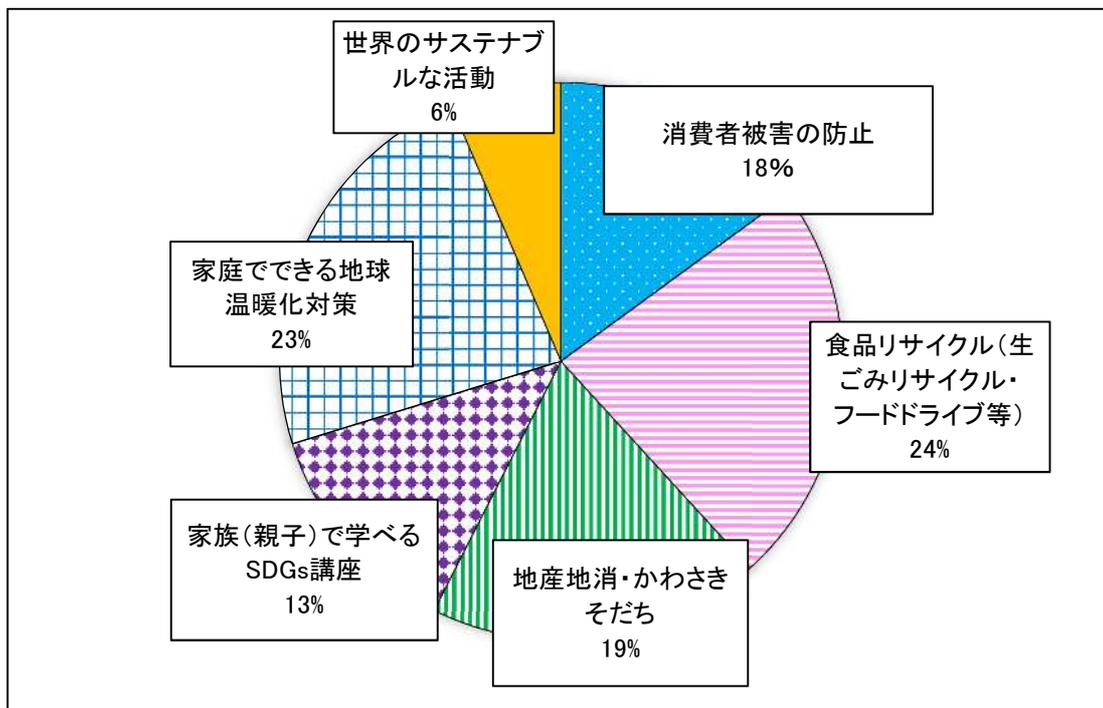
その他の内容

広告に頼らず、雇用として若年層に託し市としてのイノベーションを起こして欲しい。

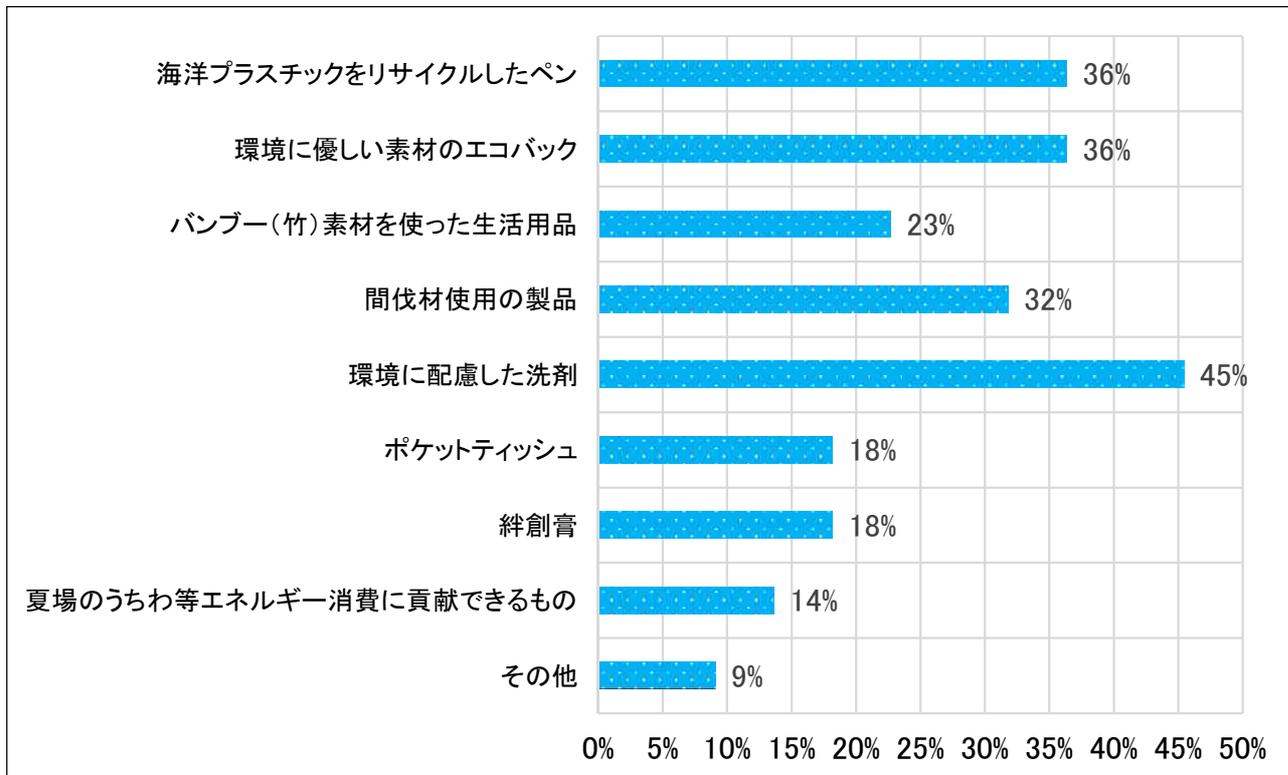
設問13 消費者行政センターでは、身近な暮らしの問題について学んでいただくために、市内在住・在勤・在学の10人以上のグループ（任意・地域団体、企業、学校等）を対象に、御希望に応じて講師を無料で派遣する出前講座「暮らしのセミナー」を実施しています。ご存知でしたか？



設問14 「暮らしのセミナー」には、小学生から高校生向け、親子講座、一般・高齢者向けの講座があります。SDGs、消費者市民社会をもっとよく知るために、どのようなテーマの講座があれば参加してみたいですか？（3つまで回答可）



設問15 消費者行政センターでは、消費者被害の未然防止、拡大防止のため、リーフレットや啓発物等を街頭キャンペーンなどのイベントで配布し、注意喚起を行っています。どんなグッズやノベルティがあれば良いと思いますか？（3つまで回答可）



その他の内容

グッズを制作する事自体がSDGsに相反するのではと思う。考えを普及するためにグッズの制作費をイベントや雇用に向けて、まずは興味を持って参加してもらえることに注力して欲しい。



設問16 消費生活eモニターを経験して、SDGsに関する行動や考え方、取り組みはどのように変わりましたか？御意見等を自由に御記入ください。（一部抜粋）

- 知識に乏しかったが、内容を確認することが出来た。世界で飢えている人に申し訳ないと思い、食品ロスには気をつけている。
- これまで以上に意識するようになった。
- 以前から節約志向であったため、特に変わりはない。
- 自身のSDGsに関する行動や考えについては変わりなく、自分でできることを行なっていきたい。
- 私の行動変容は小さなものだが、夫や子供にも意識づけすることができたことはよかったと思う。なにも知らないより、まずは知ることが大事だと思った。
- 定年退職後に、社会的な意識が薄れてしまわないように、繋がりを持ちたいと、消費生活モニターや消費生活サポーターのセミナーに参加をしている。
個々で地域での清掃活動や、ゴミ収集に伴う当番制の掃除や、ポイ捨て禁止の喚起等を行っている。市民生活で、一人一人がもう少し気を配れば、街も綺麗になり、住みやすい場所になるのではないかと、常々思っている。
- 知識は深まったが上手く説明は出来ない。
リユースしてもらえそうなものは保管して、その後捨てるということをせずに売ったりあげたりするようになった。
- 地域におけるSDGsの取り組み、川崎市の立ち位置と、施策を知ることで、今後、わずかながら自分の行動意識にも変化がありそうだ。自分自身の知識の少なさ、普段の生活における情報感度の低さを実感するとともに、自分の行動を振り返り見直す契機となり、大変貴重な経験になった。
- 日々の活動等には影響はないが、テレビや新聞などでSDGsについて取り上げられているものについて、より興味深く見るようになった。

